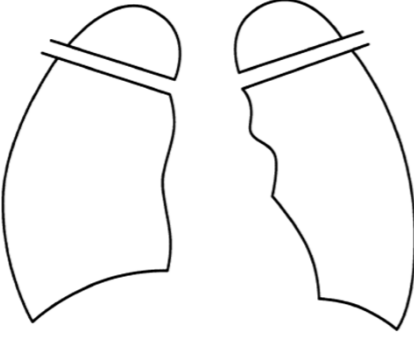
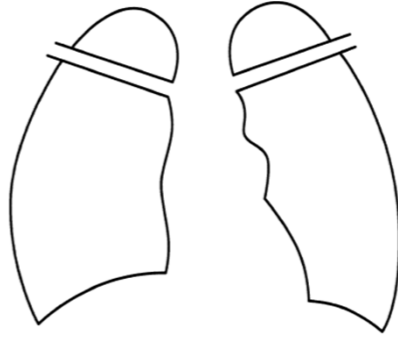


呼吸器機能障害の「診断書・意見書」の改正案

改正後	現行
<p>呼吸器の機能障害の状況及び所見</p> <p style="text-align: right;">(該当するものを○でかこむこと)</p> <p>1 身体計測</p> <p>身長 cm 体重 kg</p> <p>2 活動能力の程度</p> <p>ア <u>激しい運動をした時だけ息切れがある。</u></p> <p>イ <u>平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。</u></p> <p>ウ <u>息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。</u></p> <p>エ <u>平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。</u></p> <p>オ <u>息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。</u></p> <p>3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)</p> <p>ア 胸 膜 癒 着 (無・軽度・中等度・高度)</p> <p>イ 気 腫 化 (無・軽度・中等度・高度)</p> <p>ウ 線 維 化 (無・軽度・中等度・高度)</p> <p>エ 不 透 明 肺 (無・軽度・中等度・高度)</p> <p>オ 胸 郭 変 形 (無・軽度・中等度・高度)</p> <p>カ 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>4 換気機能 (年 月 日)</p> <p>ア 予測肺活量 <u> </u>・<u> </u> L (実測肺活量 <u> </u>・<u> </u> L)</p> <p>イ 1 秒 量 <u> </u>・<u> </u> L (実測努力肺活量 <u> </u>・<u> </u> L)</p> <p>ウ 予測肺活量1秒率 <u> </u>・<u> </u> % $\left(= \frac{1}{\text{ア}} \times 100 \right)$</p> <p>(アについては、<u>下記の予測式を使用して算出</u>すること。)</p>	<p>呼吸器の機能障害の状況及び所見</p> <p style="text-align: right;">(該当するものを○でかこむこと)</p> <p>1 身体計測</p> <p>身長 cm 体重 kg</p> <p>2 活動能力の程度</p> <p>ア <u>階段を人並みの速さでのぼれないが、ゆっくりならのぼれる。</u></p> <p>イ <u>階段をゆっくりでものぼれないが、途中休みながらならのぼれる。</u></p> <p>ウ <u>人並みの速さで歩くと息苦しくなるが、ゆっくりなら歩ける。</u></p> <p>エ <u>ゆっくりでも少し歩くと息切れがする。</u></p> <p>オ <u>息苦しくて身のまわりのこともできない。</u></p> <p>3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)</p> <p>ア 胸 膜 癒 着 (無・軽度・中等度・高度)</p> <p>イ 気 腫 化 (無・軽度・中等度・高度)</p> <p>ウ 線 維 化 (無・軽度・中等度・高度)</p> <p>エ 不 透 明 肺 (無・軽度・中等度・高度)</p> <p>オ 胸 郭 変 形 (無・軽度・中等度・高度)</p> <p>カ 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>4 換気機能 (年 月 日)</p> <p>ア 予測肺活量 <u>ml</u></p> <p>イ 1 秒 量 <u>ml</u></p> <p>ウ 予測肺活量1秒率 % $\left(= \frac{1}{\text{ア}} \times 100 \right)$</p> <p>(ア・ウについては、<u>次のノモグラムを使用</u>すること。)</p>

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢(歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢(歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

5 動脈血ガス (年 月 日)

ア O₂ 分圧 : □□□ ・ □ Torr

イ CO₂分圧 : □□□ ・ □ Torr

ウ pH : □ ・ □□

エ 採血より分析までに時間を要した場合 □□ 時間 □□ 分

オ 耳朶血を用いた場合 : []

6 その他の臨床所見

5 動脈血ガス (年 月 日)

ア O₂ 分圧 : □□□ ・ □ Torr

イ CO₂分圧 : □□□ ・ □ Torr

ウ pH : □ ・ □□

エ 採血より分析までに時間を要した場合 □□ 時間 □□ 分

オ 耳朶血を用いた場合 : []

6 その他の臨床所見

ノモグラムの使い方

1 (A)と(C)から、(B)上にBaldwinの予測式による予測肺活量が得られる。

(B)と(D)とから(E)上に予測肺活量に対する1秒率が得られる。

2 (D)を1秒量の代わりに実測肺活量とすれば、(B)と(D)とから(E)上にパーセント肺活量が得られる。

3 (B)に実測肺活量を代入すれば、(B)と(D)とから(E)上に通常の1秒率が得られる。

